

谷中川を渡り白子地域に入ると、湧き水が点在しているいろいろな形で地表に現れます。滝坂の小嶋家湧水、白子橋での流入、大坂ふれあいの森、富沢湧水群の石組み湧水道、熊野神社の池、など様々な湧き水の利用の様子が伺えます。

白子地域の湧水を訪ねて



滝坂の石垣から流れ出る小嶋家湧水



湧き水が流入する白子川・白子橋からの眺め



湧き水が斜面林に守られている大坂ふれあいの森・



石垣の中腹に作られた石組みの湧水道・滾々と変わらず流れている。生活に欠かせない水として使われた、2000年3月10年前の写真です。



斜面崖の粘土層上部から染み出す湧水



熊野神社の池では、湧水を満たし不動の滝に流れ出ている。



参道脇に毎年ひっそりと咲くニンソウの群落。



白子富士の前で集まった参加者。残っていききたい和光の自然を多くの人に伝えたエコツアーが終了。アンケートでは、尋ねた場所での説明も良く、距離的にも無理がないと好評でした。(連絡 048-462-9912)
(NPO 法人和光・緑と湧き水の会)